

共生社会の担い手となる 子どもの育成

～「共にある」特別支援学校と小学校との日常的な交流を通して～

須坂市では、障がいのある子どももいない子どもも「地域の子どもは地域で育てる 障がいのある人も安心して生活できる地域社会へ」という理念の実現に向けて、長野養護学校小学部須坂分教室を継承発展させ、須高地域に居住する児童生徒を対象とする「須坂市立須坂支援学校 小学部」を平成23年4月に、平成25年4月に「須坂市立須坂支援学校 中学部」を開校しました。校長は両校兼務で、須坂小学校と同じ校舎にあります。

開校から12年が経ち、交流のあり方も大きく変わってきています。「須坂小学校の行事に参加させてもらう」交流から、「日常的に関わり、共に遊び学び合う共同生活者」としての交流に変化してきました。学校生活を共有している須坂小学校の先生方や児童のつぶやき、活動場面の写真から、どのように意識が変化してきたかをお伝えします。

＜共に学び合う場所～子ども同士で自然に始まる遊び～＞

「いれて」「いいよ」「まってね」「ありがとう」・・・

校内のあちこちで時間・空間を共有する子どもたち同士の交流が生まれています。言葉がなくても、お互いの動きを感じながら体を動かし大声で笑い合う楽しい時間が流れます。

生活単元学習

すな・みずらんど



ブレイルーム交流



交流及び共同学習

キッズフェスティバル（児童会祭り）



支援学校の皆さんに教えてもらいながら一緒に布を染めて作ったハンカチ、大切にしています。音楽会やキッズフェスティバルで皆さんが笑顔で活動できている姿をたくさん見られてうれしかったです。特にキッズフェスティバルでは、アルミ缶リレーや分別ゲームなどすべてのアトラクションに全力で取り組んでくれて企画した6年生も喜んでいました。

須坂市立須坂小学校 6年生 担任



染め物

〇〇さんと
バスに乗って
楽しかった！



1年生の生活科『学校たんけんに行こう』で、支援学校小学部に行きました。1年生は、支援学校のバスやタクシーに興味津々。支援学校の先生に誘ってもらって一緒に乗ったり、押したりする光景がなんともほほえましかったです。これからも「ねらい、振り返り」を明確にしながら交流していきたいです。

須坂市立須坂小学校 1年生 担任



＜多様性を包み込む行事づくり～企画から一緒に～＞

開校当時から、一緒に作り上げてきた大切な行事。走る・踊る・歌う・奏でる。自分の力を精一杯出し切って頑張ったり、体中で音を感じながら思いっきり楽しんだりしている姿を見ていると、自然に見ている人たちの体も心もむずむず動き出します。

小学校・支援学校という垣根を越え、同じ1人の人間として、共につながり、共に学び合う・・・そんな子どもたちの姿・成長を期待して諸活動に取り組んでいます。

須坂市立須坂小学校 4年生 担任



運動会



運動会では、一緒に組み体操とフラッグダンスをしました。支援学校のお友達の「3、2、1スタート」の元気な声で演技が始まり、精一杯の表現ができました。お互いがいなくてはならない存在として関わった思い出の運動会です。

須坂市立須坂小学校 6年生 担任



音楽会



運動会や音楽会で、支援学校のお友だちの発表を見るのがとても楽しみです！

須坂支援学校の紹介



支援学校のこともっと知りたい

何で泣いてるんだろう？

何でかなあ？

なんか心配なんじゃない？

わたしもそういう時ある・・・

みんなの声



須坂市立須坂支援学校
非公式キャラクター
「畑戦隊ジャガバター」



10周年記念式



須坂支援学校10周年式典で、子どもたちの「どんちゃん」「かめさん」「くぬぎさん」を見ることがキラキラしていたのが、とても印象に残っています。大切な節目に「くぬぎさん」ができて嬉しい限りです。

R2 須坂市立須坂小学校 須坂支援学校 PTA 会長

これまでに様々な出来事があり、多くの出会いがありました。その経験が受け継がれ、「お互いが尊敬し合い、ありのままを受け入れること」は、「どちらか一方が我慢したり、力以上に頑張ったりすることではないこと」を学びました。お互いを知ることから、一人一人があたりまえに「どうしたら、一緒に喜び、高め合えるのか」を考え行動しています。これまでの出会いに感謝です。

ありがとう。



お便利です。

休み時間

終業式終わった？
椅子片付けの手伝うよ！



支援学校のお友だちと
もっとたくさん遊びたい！

